

### 団体・組織の概要

※太枠内、必須事項。その他は、該当する項目を記載してください。

<b>団体/会社名</b>	株式会社 堂森組		
<b>代表者</b>	吉川 義勝	<b>担当者</b>	森 純一
<b>所在地</b>	〒603-8115 京都市北区紫竹下本町19-1 TEL: 075-491-6712 FAX: 075-491-6455 E-mail: doumorig@skyblue.ocn.ne.jp		
<b>設立の経緯 ／沿革</b>	昭和25年6月に株式会社堂森組を設立 資本金120万円 本店を北区紫竹に砂利採取プラントを北区柘野に 昭和33年に滋賀県安曇川に砂利採取プラントを 資本金480万円に増資 昭和58年に資本金1500万円に増資 平成15年に資本金5000万円に増資 平成18年に京都府の「☆エコ京都21」登録事業所認定		
<b>団体の目的 ／事業概要</b>	主に建築骨材の販売事業をしており、環境省関係（京都御苑）や自治体関係の（学校・公園）などに骨材の納品、他に土木工事と上下水道工事などの事業をしております。 また、冬期には京都市北部の久多地域の除雪作業を30年間現在もやらせて頂いています。		
<b>活動・事業実績 （企業の場合は 環境に関する 実績を記入）</b>	各自治体で発生する、ゴミ焼却灰や下水汚泥の熔融スラグに加工を施し、公園・学校・史跡名勝・神社や寺の参道や庭園・駐車場などに使用でき、一般家庭でも利用できる、有効利用率100パーセントの製品を作り営業をしています		
<b>ホームページ</b>			
<b>設立年月</b>	昭和25年 6月	*認証年月日（法人団体のみ）	年 月 日
<b>資本金/基本財産 （企業・財団）</b>	五千万円	<b>活動事業費/ 売上高（H17）</b>	二億五千万円
<b>組 織</b>	スタッフ/社員 10名（内専従 名）		
	個人会員 名	法人会員 名	その他会員（賛助会員等） 名

## 政策のテーマ 完全循環型製品と自然環境保護

## ■政策の分野

- ・①循環型社会の構築
- ・④自然環境の保全
- ・⑩環境パートナーシップ

## ■政策の手段

- ・②制度整備及び改正
- ・⑪地域活性化と雇用

団体名： 株式会社 堂森組

担当者名： 森 純一

■キーワード	自然環境の破壊防止	温室効果ガスの排出抑制	最終処分場の延命と無用論	下水汚泥・焼却灰の有効利用	市街地でビリが調達可能
--------	-----------	-------------	--------------	---------------	-------------

## ① 政策の目的

自然環境保護と持続可能な完全循環型社会

## ② 背景および現状の問題点

当事業所で現在まで使用販売をしている、国民公園や神社・寺などで多く使用されている、砂利（ビリ）などは郊外の河川や山の自然環境を破壊し、生態系を大きく変え採取しているものであり、また採取時に使われるエネルギーの排出量（CO<sub>2</sub>）も多く、森林伐採など地球温暖化問題にも大きな影響を与えています。

## ③ 政策の概要

当事業所は長年にわたり砂利類採取販売の事業を営んでおりますが、自然環境や資源保護の為、河川の砂利や砂が入手困難になり、公園・史跡・神社などの砂利道などに使用するビリ（河川から採取する10ミリから15ミリ以下の自然の黒っぽい石）が少なくなり、大きな石を破砕して人工的に作る為、破砕角ができ碎石と変らず、得意先の方々からの苦情が多くなり、代替の石が望まれるとき、各自治体で作られている溶融スラグに着目し加工を施し、得意先の方々の納得のいただける黒い人工のビリを作る事ができました、また現在でも溶融スラグは舗装路盤材やコンクリートブロック（エコ商品）などに使用されていますが、スラグ単品での使用はありません、溶融スラグが有効利用率100%の製品として生まれ変わる、リサイクル商品であり、持続可能な循環型社会を作ることができます。

④ 政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

滋賀県下水公社から譲りうけた、熔融スラグを自社プラントで簡単な化工を施すだけで、自然砂利（黒ビリ）の代用として多くの場所で使用できる製品になります。



上の写真は国民公園と名勝の写真ですが、現在自然の砂利（黒ビリ）多く敷かれている所ですが、この他にも神社や一般家庭でも多く使用されており、この様な場所で使用されると、各自治体のゴミに関する考えが大きくかわります。

⑤ 政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

⑥ 政策の実施により期待される効果（具体的にお書きください）

- ① ① 砂利を採取する為、郊外の河川や山の自然環境を壊すことなく、市街地で確実な資源確保ができる為、採取時に排出するCO<sub>2</sub>や郊外からの運搬がなくなり排気ガスによる大気汚染などが大幅に抑制されます。
- ② ② 各自治体からでる、熔融スラグに簡単な加工を施すと、自然ビリより美しく、品質の良い、人工ビリができ営業として成り立ちます、人工ビリが有効利用率100パーセントになると、各自治体が莫大な予算をかけて作る、ゴミ埋め立て処分場の延命は当然のこと無用になる事さえ考えられます。

⑦ その他・特記事項

各地域ごとに誰もが簡単に作る事ができる為、地域の活性化や雇用問題にも多少なりともプラスになると思います。

東京都内で人工の川砂利（黒ビリ）が採取でき調達できるのであります。